

第 21 回開催のご案内

呼吸器科医養成塾

謹啓

時下、先生方には益々ご清祥のことと存じます。この度も、第21回呼吸器科養成塾を開催する運びとなりました。本会は、専門知識からプライマリケアに関することまで、若手医師育成の場として、現場で役立つディスカッションをして、コミュニケーションをとることを目的にしています。

名古屋大学 呼吸器内科とその関連施設の若手医師を主な対象としていますが、どなたでも参加可能です。今回は公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 主任部長 近藤 康博 先生に現場的な雰囲気でのレクチャーをして頂いた後に質疑応答・ディスカッションを行います。ご多忙とは存じますが御出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

■日時：平成26年11月27日(木) 18:50~20:30

■場所：TKP名古屋ビジネスセンター 8階 大会議室 8A

名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル TEL.052-459-5051

18:50~19:00 「感染症領域 学術情報提供」

大日本住友製薬株式会社

19:00~20:30 レクチャー&ディスカッション

司会：名古屋大学医学部 呼吸器内科 十九浦 宏明 先生

「 特発性間質性肺炎の再考 」

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科
主任部長 近藤 康博 先生

< 当日の内容 >

2011年特発性肺線維症の国際ガイドラインの改定に引き続き、2013年には特発性間質性肺炎の多分野分類が改定され、間質性肺炎の枠組みや考え方が大きく変わりつつあります。また、特に難病として問題となる特発性肺線維症においてはPirfenidoneに引き続きNitedanibの有望な成績が報告され認可予定といううれしいニュースが届いています。今回の講演では、間質性肺炎臨床として知っておくべきポイントにつき最近の知見に基づき概説し、皆さんと議論したいと思います。

< 略歴 >

昭和60年3月 名古屋大学医学部卒業

昭和60年4月~公立陶生病院研修医、内科医員

平成1年4月~名古屋大学医学部内科学第二講座

平成4年4月~公立陶生病院呼吸器アレルギー内科

平成26年10月現在 公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科主任部長

間質性肺炎関連：

日本呼吸器学会 特発性間質性肺炎 診断と治療の手引き：作成委員

Official ATS/ERS/JRS/ALAT Statement: Idiopathic Pulmonary Fibrosis:

Evidence-based Guidelines for Diagnosis and Management：作成委員

2012年ATS meet the professor: Acute Exacerbation of IPF- concept and management 講師

事務局：名古屋大学医学部 呼吸器内科 十九浦 宏明 TEL：052-744-2167 FAX：052-744-2176

問合せ先：大日本住友製薬(株) 森 e-mail：yusuke-mori@ds-pharma.co.jp TEL：052-201-3341

※ 会費 500円を頂いております ※ 本会ではお弁当を用意しております
※ 本会終了後 20：30より第4回女性医師部会を隣の会議室にて開催させていただきます

共催 呼吸器科医養成塾・大日本住友製薬株式会社

【会場までの地図】

TKP名古屋ビジネスセンター 8階 大会議室8A

名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル TEL.052-459-5051



■交通のご案内

JR『名古屋駅』、近鉄『名古屋駅』、名鉄『新名古屋駅』徒歩1分